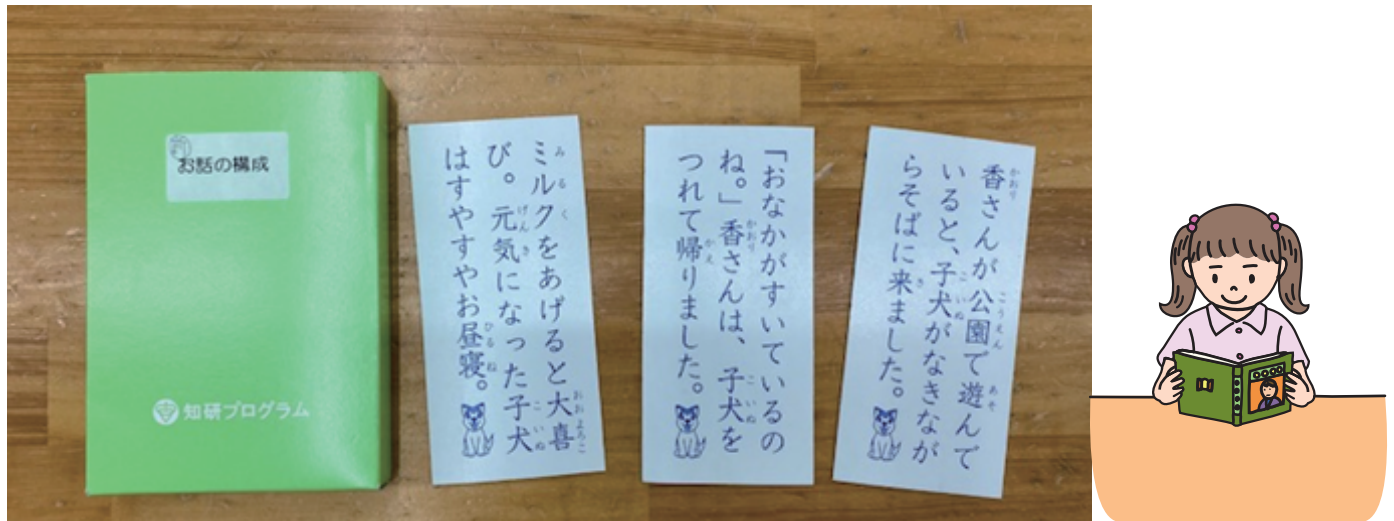


小1 お話の構成



これからの情報社会の中では 物事を多角的・多面的に考える力が求められます。文章の読み取り方も例外ではありません。ですが、そこに至るまでまずは物事の筋道を立てて事実を確認する必要があります。

小学校の国語の学習では低学年のうちに「時間的な順序の把握」や「段落相互の関係の捉え方」を理解できるかが大切なポイントとなってきます。

ここがきちんと押さえることができないと高学年になってからの長文読解は困難になってきます。

チャイルド・アイズでは小学1年生になるとより国語に近い学習を進めていきます。この教材は『いくつかに分割された文章の場面を考え、時系列などを推測し、お話の構成を考えていく』ものです。お話の流れから文章を組み立てていきますが、『どうしてそう考えたのか』など論理的な思考の仕方・表現活動なども行います。

そしてさらに上記の文であれば『公園で遊んでいたのはいつのことか、かおりさんの年齢はいくつなのか、どこへ子犬を連れて行ったのか』など背景や登場人物の思いを考えさせることもしていきます。(ここでは『お昼寝』という言葉がポイントですね)

このような簡単な文章で練習した後、少し長い文章にも触れていきます。

『接続詞』の意味も理解できるようになります。

幼児期から絵を見て表現活動をしてきたお子さんは文章からイメージを上手に広げることができるようになります。

おうちでは本に触れる機会をたくさん設けてあげてください。小学生になっても読み聞かせはとても大切な学習の一つです。絵本ではなく文字の多い本を読み聞かせることもよいですし、おうちの方とのコミュニケーションを図ることも学ぶ楽しさにつながります。

S ^{した} ^{ぶん} 下の文は ^{つく} ^{かた} カレーの作り方が ^か いてありますが ^{おかしな} ^{ぶん} 文になっています。

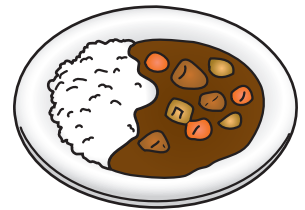
そしておなべのなかに おみずをいれて
いためたやさいやおにくをやわらかく
なるまで にます。

ごはんをおさらにもりつけ、そのうえに
カレーをかけてできあがりです。

さいごに カレーを いれて ゆっくりと
にこみます。「おいしくできたかな。」

きったやさいとおにくを おなべにいれ、
いためます。

はじめに じゃがいも にんじん たまねぎ
おにくを きります。



^{うえ} 上のおはなしを ^{ただ} 正しいおはなしになるようにならばかえ、
^{した} 下になおしてみましょう。

<p>みぎの おはなしの てじゅんで みなさんも カレーづくりを チャレンジしてみよう！</p>													
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--